



たつやなぎ けいいち 辰柳 敬一 議員

【議員】 酪農振興対策について、①農地の交換、集約化の事業化ができないか。②堆肥処理施設を大型化し、完熟堆肥を利用する農業を目指すべきでは。③自給飼料向上のため、草地造成の事業への取り組みは。

【町長】 ①農地の集約はこれまで国・県の補助事業を活用したり、町単独事業を創出しながら実施してきました。

また、農業委員会や岩手県農業公社で、売買や貸借による利用集積事業を進めています。今後も、地域からの要望や農家の意向を踏まえ、農地の利用集積を進めます。

②本町の乳牛と肉用牛の飼養頭数は横ばいで推移すると予想され、家畜排せつ物は現状の施設を有効活用することで処理でき



共同で堆肥の発酵処理を行なう五日市堆肥利用組合

問 農地の集約化や草地造成等で酪農振興を  
答 利用集積事業と循環型農業を推進する

ると考えています。

ただし、個々の経営体では規模拡大が進み、平成16年度までに建設した施設では処理しきれない畜産農家が出てきています。町は、農家が完熟堆肥を生産

できるような農業改良普及センターや農協などの関係機関と協力しながら、循環型農業の推進に努めます。

③現在、当町の粗飼料自給率は約93%となっており、今後は草地造成のみならず、草地改良や適期収穫が不可欠と考えています。

町では、近隣の3市町で国の畜産担い手育成総合整備事業による草地造成、草地改良を実施するために県や農業公社と連携して進めています。

粗飼料生産の効率化によるコストの軽減と自給率の向上や達成するための方策などを取りまとめます。

【問】 葛巻分署が老朽化改築の予定あるか  
【答】 安全・安心な町づくりに

て災害時に最も頼りとするのが、消防団であり、消防分署です。その施設の老朽化が心配されま

【答】 次期町発展計画で早期の整備を検討

葛巻分署の建物は昭和55年12月に完成し、築後30年が経過しています。これまで毎年、建物や設備の改修などを行い維持管理に努めてきましたが、建物全体の老朽化も進んでいるものと認識しています。

本町の「安全・安心な町づくり」の拠点施設でもある葛巻分署の改築についても、25年度からの「町発展計画」において、整備計画を計上する方向で検討し、過疎計画等の既存の計画と整合性を図りながら、早期の整備を図っていく考えです。



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

【議員】 自殺者ゼロを目指す施策向上について、

- ①当町の自殺の原因分析は。②心の健康や生活・経済問題など、各種相談事業の利用状況は。③自殺ハイリスク者への支援システムは。④かかりつけ医と精神科医との連携強化は。⑤自殺死亡率の高い地域へ県からの特別支援の打診は。⑥今後の取り組みは。

【町長】 ①健康や経済、家庭問題などが原因と考えられます。②こころの健康相談や心配ごと相談、心の教室相談、産後うつ

の相談など、延べ110人となっています。また、経済問題に関する相談事業は、生活保護相談や無料法律相談、社会福祉協議会が行っている生活支援相談など、延べ130人となっています。

問 自殺者ゼロを目指す取り組みは  
答 関係機関と連携し予防活動に努める

③県では「自殺対策ハイリスク者支援体制づくり」を検討しており、町でも指導を受けながら推進します。

④町こころの健康づくり連絡会で、県からの助言をいただくとともに、医療機関等との連携を積極的に推進します。

⑤「自殺対策緊急強化事業」により、職員派遣など多くの人的支援をいただいています。⑥関係機関の協力を得ながら、自殺予防の啓発活動に努めます。

【答】 パトロールの強化と早期の維持修繕

①整備状況については、次表の

Table with 4 columns: Road Name, Road Length, Sidewalk Length, and Sidewalk Completion Rate. Lists various roads like National Route 281, 340, and local roads.

とおりです。②県では、緊急性の高い箇所から整備するとしており、国道281号江刈川地区、国道340号車門地区の路肩部を拡幅するなど、安全な通行の確保に努めています。町道は、歩道の整備計画はありませんが、改良事業及び維持修繕事業において、安全な通行の確保に努めています。③国・県道は、通勤や通学に間に合うように重点的に行い、そのほかは、車道の除雪が終り次第速やかに行うよう努めています。町道は車両の通行確保の後、歩道の除雪を行っています。④県ではパトロールを行って、早期発見や補修に努めています。町は、早期の補修や応急処置を行うなど、安全な通行を確保しています。